



派遣議員：三浦正臣 議員、原田孝司 議員



・写真を使ってわかりやすく説明してくれたり、クイズも出してくれたので、とても勉強になったと思います。県議会のしごとやしくみなどを、くわしく教えてくれてよかったです。みんながくらしやすい大分県にしてくれているんだと思って、とてもすごかったです。

・県民の願いを実現するために、県の条例や予算、しごとについて相談して大切なことを決めているのが大変だなと思いました。

・県議会の中で、委員会などがあることを初めて知りました。定例会は年4回あるけど、臨時会は、選挙の後や急いで決めなければならない時に開くことがわかりました。議員定数が44人と決まっていることもびっくりしました。

・議会を傍聴することができることを初めて知りました。請願書をだれでも提出できるのはすごかったです。



・議員さんは、議会がないときもいろいろな場所に行って調査などをしていると聞いて、とてもいそがしい、大変な仕事なんだと知ることができました。いざ自分が有権者になったときに、きちんと県民の立場になって考えてくれる人を選ぶ大切さなどを、この授業で知ることができました。

・ぼくたちが20歳になったら、自分の願いをかなえてくれる議員さんを選び、この県を更によくしていきたいです。今の議員さんも、この県をよくするためにこれからもがんばってほしいです。



・議員の中では議論がよくあるとおしえてくれましたが、そういう議論があるから、大分県は安心・安全に暮らせるのです。議論がなかったら意見も考えも出ない。考えがなかったら案も出せない。そういう仕事をするのが議員の主な仕事だと思いました。

・県民が安心・安全で暮らすことのできるようになる、とても大切でやりがいのある仕事だと知り、私もやってみたいと思いました。

